

東北大学史料館 企画展

清風一過

大島正隆の歴史学と民俗学

展示期間：9月27日（火）

～10月3日（月）

見学可能時間 8:00～22:00

（土日は 10:00～22:00）

東北大学附属図書館本館 1F

エントランスホール展示コーナー



主な展示品

- ・ 1933年12月母あて大島正隆書簡（治安維持法違反で収監されていた時の手紙）
- ・ 受講ノート（古文書学、東洋史特講、西洋史演習）
- ・ 柳田国男の集中講義へのレポートとそれに対する柳田の評価
- ・ 1938年7月森嘉兵衛あて大島正隆書簡（卒業論文の構想を述べたもの）
- ・ 卒業論文「仙台藩農村の確立展開過程」
- ・ 史料探訪メモ（秋田家史料など）
- ・ 朝鮮・中国東北部旅行で収集した渤海・高句麗の都城図

大島正隆（1909—44）は、敗戦前の東北大学で学び、奥羽中世史研究の開拓者となった人物です。柳田国男に師事し、民俗学でも成果をあげました。将来を囑望されていましたが34歳で夭折します。

今回の展示では、東北大学史料館に寄贈された遺品・遺稿・書簡を中心に、清風のように駆け抜けた生涯をたどります。

主催：東北大学史料館 大島正隆文書研究会

共催：東北大学附属図書館 東北史学会 文学研究科日本史研究室

お問合せ先：東北大学史料館 022-217-5040